

子どもから高齢者まで、元気な地域づくり

三重地区社会福祉協議会

No35

《発行日》令和5年11月1日

《連絡先》社協 地域福祉課 Tel.22-6677 fax22-3118

※戸別配布用 大事に保管して下さい。

令和5年度テーマ **支え合い みんながつながる地域づくり**

令和5年度 **福祉ネット会議**



新田地区会場

支え合う地域

地域支え合い
推進員

福祉ネット会議は「地域の今とこれからを話し合う場」として、平成27年度から町内8ブロックで年1回開催しています。

今年度は区長、民生児童委員、福祉委員、地域によっては老人クラブの方に参加いただき、8月18日～9月19日にかけて開催しました。

今回は、高齢者の生活課題や現状という内容に焦点を当て、地域での支え合いの活動のきっかけづくりとなることを目的に、市社協職員の地域支え合い推進員より「支え合う地域」と題した講話を行いました。

講話では「人口減少による介護人材不足等により、様々なサービスを受けたくても受けることができない方がだんだんと増えてくる可能性が高い。住み慣れた地域でいつまでも暮らすためにも、現状を見つめ、地域のみinnで支え合う地域づくりが大事になってくる」という内容でした。

また、参加者のアンケートでは、「地域の将来を考える必要性を感じた」「できることから始めたい」という声もあり、三重地区社協としても、みんなが住みやすい地域を作るために構成員みんなで協力しサポートしていきます。

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

心ゆたかな和も更に広げて 肝煎二区 供養盆踊り

(肝煎二区)

肝煎二区では去年の福祉ネット会議を受けて、今年の4月から地域の方との座談会や協議を行う場を設定し、これからの地域づくりに向けて協議を行ってきました。その中で今年はず地域行事を復活させて地域を盛り上げていこうということから、その第一歩として3年ぶりの盆踊りを8月15日に開催しました。

7月15日からの毎週土曜日に盆踊りの練習を行い、練習では子どもから大人まで参加し、多世代交流を行いながら地域のつながりが生まれました。

そして地域の皆さんの思いが形になり当日の参加人数の合計は100人を超えていました。準備段階の会議では子どもが集まることは厳しいかもしれないと言われていましたが、当日はたくさん子どもたちが参加し楽しそうに踊っていました。

今回の盆踊りで行事を復活させるということだけではなく、地区の皆さんのつながりを改めて構築するきっかけになったと思っています。



盆踊りを
受けて・・・

福祉とくらしの座談会



9月20日に肝煎二区で座談会を開催しました。今回の座談会では盆踊り大会の振り返りを行い、今後肝煎二区でどのようなことを行っていきたいかの確認を行いました。

そして、地域の方と協議した結果、若者から高齢者までの困りごとをサポートする活動を行ってほしいという意見がでました。

今後も皆さんの思いが形になるよう、話し合いを重ねていきます。



豊後大野市・豊後大野市社協・三重地区社協では、自治会単位で「福祉とくらしの座談会」を開催してもらえるようお願いしています。地区内で声がかかりましたら是非とも参加していただければと思います。

前号の「市社協と地区社協の違い」の記事に続き、「三重地区社協の歴史」についてお知らせします。



三重地区社会福祉協議会（三重地区社協）はどういう経緯で、できたん？

平成17年の市町村合併によって旧町村社協も合併し、豊後大野市社協になりました。

その後、地域福祉事業についても整理・統合しながら市内全域で事業を行ってきましたが、その一方で、**各町がそもそも持っている特徴や福祉力などを見過ごす要因にもなっていました。**

市社協だけでは市内全域の把握が難しいことや、「地域を熟知している地域住民が構成員となり活動していく地域福祉を形成して欲しい」という住民の声もあり、設立準備会を設置し、県外の先進地区の視察やたくさんの協議を重ねた結果、**平成24年3月12日に三重地区社会福祉協議会が設立されました。**



なるほど～
だから**構成員は地域住民や福祉に関係する団体の方**が入ってるんやな。



各町の特徴、福祉力とかいいよるけど三重町はどんな特徴がある町なん？

三重町は他の町に比べて**範囲が広い**ということが特徴になります。また、広いがゆえに山間部と町部では課題なども違います。

そのため、三重町を8つの地区に分けた上で、福祉ネット会議などを行い、**顔の見える範囲を中心とした地域福祉の推進を図っています。**



確かに三重町は規模が大きいから、他の町のようにはいかんのやな～
地区社協の詳しい活動を知りたいな～

諸先輩方が行ってきた地区社協の活動などについては、次号の広報紙で説明しますね。
おたのしみに～。



第2回 お楽しみ★フェスティバル

主催：みえサロンの「わ」

9月21日（木）にエトピアおおの小ホールにて、みえサロンの「わ」の企画による「第2回お楽しみフェスティバル」が開催され、町内34のサロンから170名以上の参加がありました。

活動を支援する三重地区社会福祉協議会を代表して、赤星成實会長よりサロン（通いの場）の大切さについてのあいさつをいただきました。

今回の内容は、2名のサロン講師の紹介と臼杵市からミスターシュガー氏をお招きし、変面ショー&おもしろマジックショーを披露していただきました。参加した皆さんからは「とても楽しかった」「久しぶりにこんなに笑った」との感想が多数寄せられ大盛況でした。

このお楽しみフェスティバルを通して他のサロンの方々と一緒に笑い、楽しい時間を共有することで参加者同士の「つながり」が深まったと思います。

三重地区社協は、今後も様々な行事に協力していきたいと思います。



参加者の皆さん



麻生英征代表



ミスターシュガー

赤い羽根共同募金運動 街頭募金



10月1日より赤い羽根共同募金運動が始まりました。三重地区社協も共同募金の助成金を頂いております。10月4日に助成団体（赤い羽根サポーター）として共同募金のPRも兼ねて街頭募金活動に参加しました。

当日は、多くの方より募金の協力をしていただきました。この場を借りて、感謝申し上げます。ありがとうございました。



編集後記



ショウキズイセン（肝煎一区）



深田区の田園

朝晩は少しずつ冷え込む日が増えてきました。風邪などひかれませんようお気を付けてください。世界のニュースでは、毎日のように争いに巻き込まれた人々の訃報が届き、平和の重要性を痛感する今日この頃です。日本では実りの秋を迎え、田んぼでコンバインが黄金色の稲穂の波間をせわしく行き来し収穫の真最中、平和を実感します。

町民の皆さまには、三重地区社協広報紙を本号もお読み戴き有難う御座います。

本号は、各地域の「福祉ネット会議」から「供養盆踊り」そして「くらしの座談会」と肝煎二区の取材特集記事、前号に続き「三重地区社協の設立と歴史」、みえサロンの「わ」主催行事「お楽しみフェスティバル」、「赤い羽根共同募金運動・街頭募金」活動の様子を紹介しています。

令和5年度テーマは「支え合い、みんながつながる地域づくり」です。「私は何の為に生まれてきたのか・本当の幸せとは何なのか」少しでも多くの人役に立ち、話し合える友がいる事、それから・・・編集部一同、明るい元気な地域づくりの輪を広げる役に立つ取材を今後も行います、ご協力をよろしくお願いします。

広報部 部長：高野 幸雄、委員：管原 久徳、担当：石井 咲也、田邊 正明